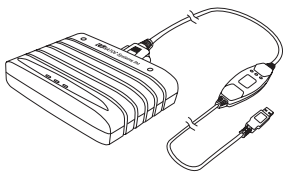


RS-232Cモデム/
USB変換ケーブルセット

REX-C56EX-U セットアップガイド

2013年1月
第2.0版



RATOC Systems, Inc.

●対応OS

Windows 8/7/Vista/XP/2000
Windows Server 2008 R2/Server 2008
Windows Server 2003 R2 /Server 2003
※32ビット・64ビット両対応。

●**お願い**
本製品を正しく安全にお使いいただくため、CD-ROMに収録している「必ずお読みください」(PDF形式)をお読みください。

●パッケージ内容をご確認ください

- REX-C56EX本体
- USB変換ケーブル
- モジュラーケーブル
- RS-232Cケーブル
- ACアダプター
- セットアップガイド(本紙)
- ソフトウェアCD-ROM
- 保証書

万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

注意 添付のACアダプターは本製品専用です。

添付品以外のACアダプターを使用しないでください。また、添付のACアダプターを他の製品に使用しないでください。火災・故障の原因となります。

※本文中の画面例は、Windows 8またはWindows XPです。その他OSでは画面が若干異なりますのでご了承ください。



本製品を接続する前にドライバーソフトウェアをインストールします。

【ご注意】

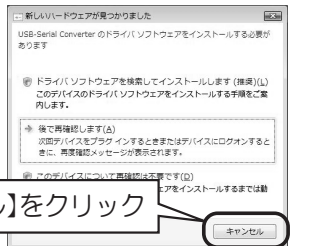
ドライバーがインストールされていないパソコンに本製品を接続した場合、以下の手順をおこなったあと「1. ドライバーのインストールをおこなう。」に進んでください。

Windows 8/7/Windows Server 2008 R2の場合

本製品をUSBポートから取り外します。

Windows Vista/ Windows Server 2008の場合

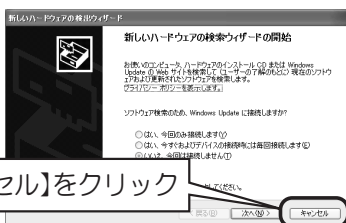
右記の画面で【キャンセル】をクリックしたあと、USBポートから取り外します。



【キャンセル】をクリック

Windows XP/2000/ Windows Server 2003 R2/2003の場合

右記の画面で【キャンセル】をクリックしたあと、USBポートから取り外します。



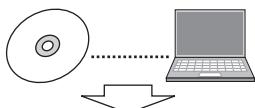
【キャンセル】をクリック

1. ドライバーのインストールをおこなう。

製品添付CD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入し、以下の手順でインストールをおこなってください。

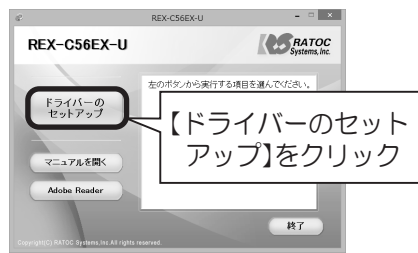
※実行中のアプリケーションや画面は全て閉じてください。

USB変換ケーブルとモデムはまだ接続しないでください。



1-1. 【コンピューター】を開き、CD-ROM内の【autorun.exe】をダブルクリックしてください。

※ユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合、【続行】をクリック。



【ドライバーのセットアップ】をクリック

1-2.

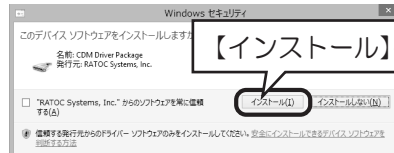


【次へ】をクリック

1-3.

Windows 8/7/Vista/ Windows Server 2008 R2/2008の場合

下図のような画面が3度表示されます。いずれも【インストール】をクリックしてください。

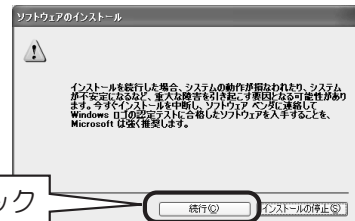


【インストール】をクリック

Windows XP/2000/ Windows Server 2003 R2/2003の場合

Windows XPの場合

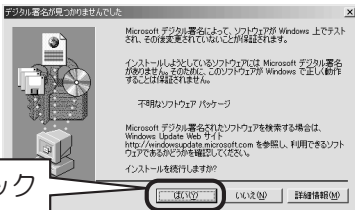
同一の表記が3度表示されます。いずれも【続行】をクリックしてください。



【続行】をクリック

Windows 2000の場合

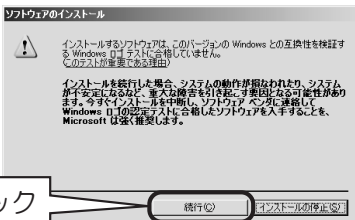
【はい】をクリックしてください。



【はい】をクリック

Windows Server 2003 R2/2003の場合

同一の表記が3度表示されます。いずれも【続行】をクリックしてください。



【続行】をクリック

1-4.



【完了】をクリック

ドライバーのインストールは完了しました。メニュー画面の終了をクリックしてください。



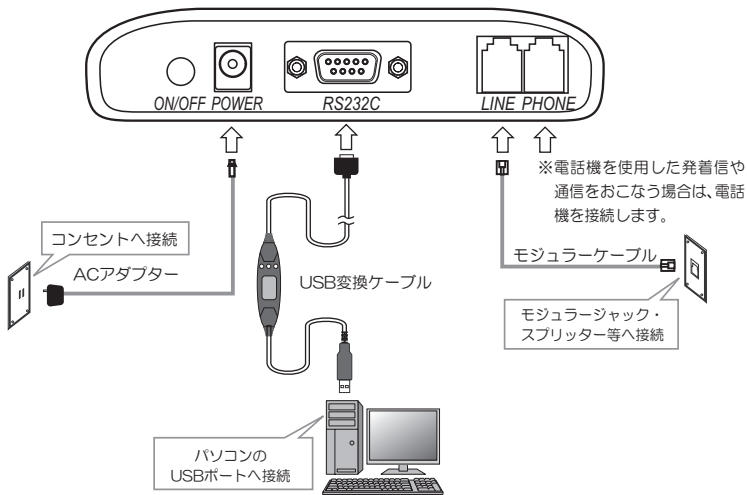
パソコンをシャットダウンし、電源がOFFの状態を確認後、「2.接続する。」へ進んでください。

2. 接続する。

ここではUSB変換ケーブルを使用し、モデムをパソコンのUSBポートへ接続する場合の説明をします。

※RS-232Cケーブルでパソコンに接続する場合、製品添付CD-ROM内収録「セットアップガイド RS-232Cケーブル接続編」へ進んでください。

2-1. パソコンの電源がOFFになっていることを確認し、図のように本製品を接続します。



2-2. モデム背面の電源スイッチをONにします。



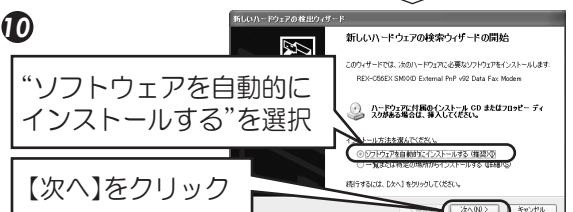
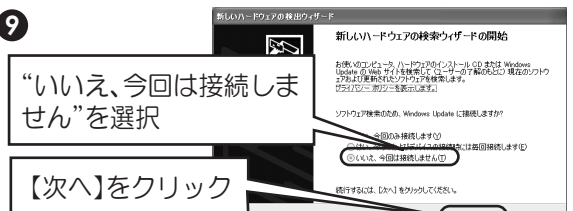
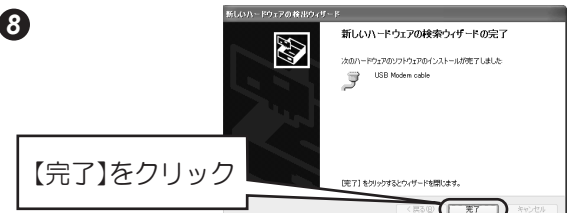
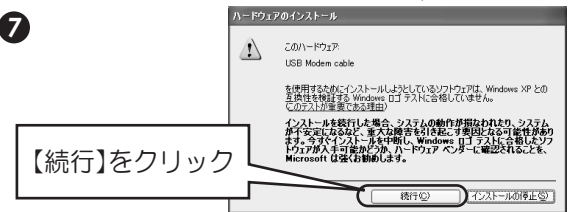
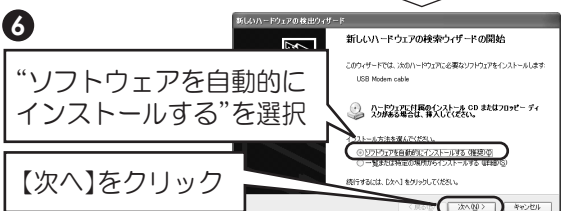
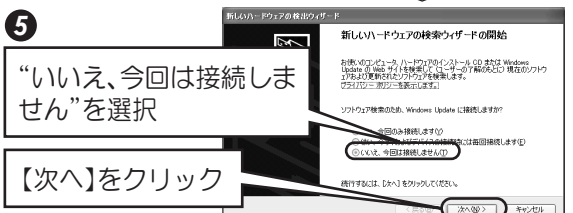
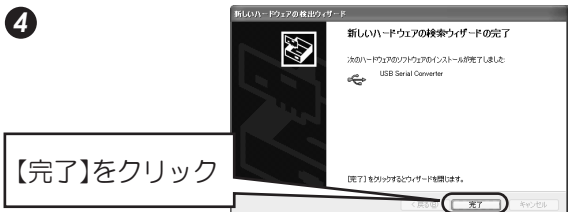
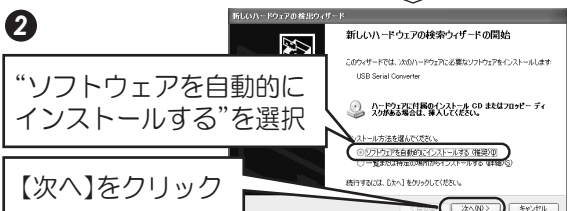
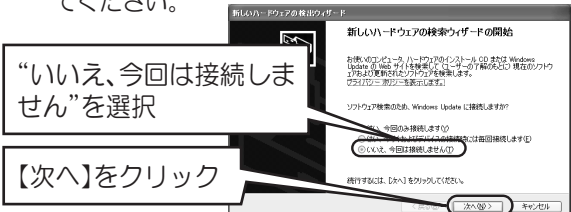
2-3. パソコンの電源を入ると、自動的にドライバーがインストールされます。

Windows 8/7/Vista/ Windows Server 2008 R2/2008の場合

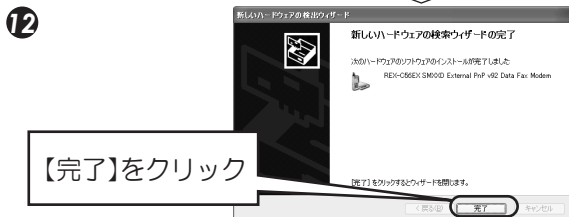
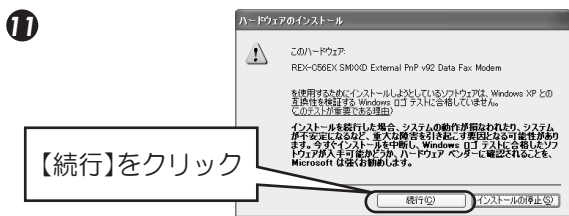
「3.インストールの確認をおこなう。」へ進んでください。

Windows XP/ Windows Server 2003 R2/2003の場合

1 以下画面が表示されますので、次のように処理をおこなってください。

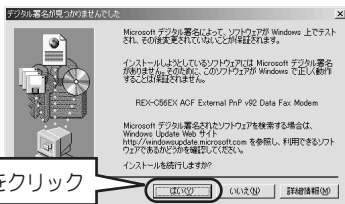


裏面へつづく



Windows 2000の場合

1 以下画面が表示されます。【はい】をクリックしてください。

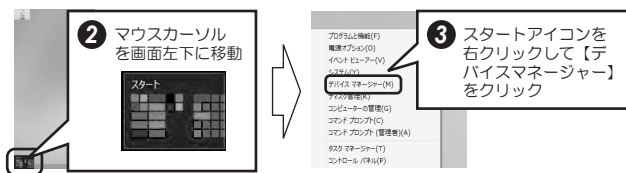


3. インストールの確認をおこなう。

3-1. デバイスマネージャーを開いてください。

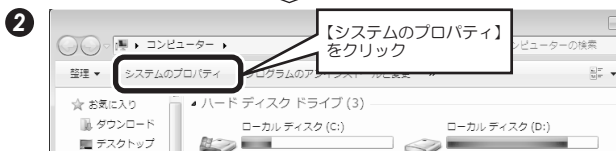
Windows 8の場合

1 スタート画面の【デスクトップ】をクリックし、デスクトップ画面に切り替えます。



Windows 7/Vista/ Windows Server 2008 R2/2008の場合

1 【スタート】→【コンピューター】をクリック。

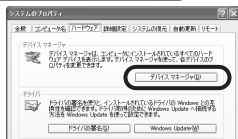


3 画面左上の【デバイスマネージャー】をクリック。

※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら、【はい】または【続行】ボタンをクリック。

Windows XP/ Windows Server 2003 R2/2003の場合

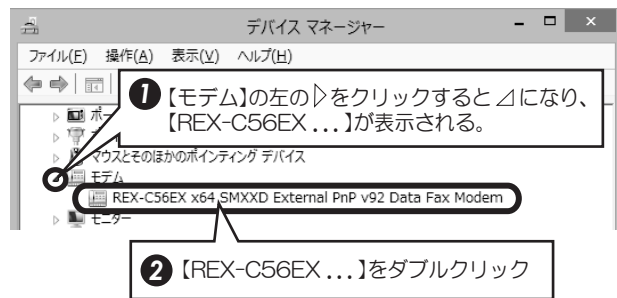
【スタート】→【コントロールパネル】→【パフォーマンスとメンテナンス】→【システム】をダブルクリック→【ハードウェア】タブをクリック→【デバイスマネージャ】ボタンをクリック



Windows 2000の場合

【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリック→【ハードウェア】タブをクリック→【デバイスマネージャ】ボタンをクリック

3-2. デバイスマネージャーにて、【REX-C56EX...】と表示されていること(1)を確認し、この表示をダブルクリック(2)してください。



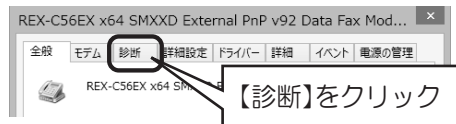
※デバイスマネージャーには以下のように表示されます。

OSが32ビット版の場合
 【REX-C56EX ACF External PnP v92 Data Fax Modem】または
 【REX-C56EX SMXXD External PnP v92 Data Fax Modem】
 OSが64ビット版の場合
 【REX-C56EX x64 ACF External PnP v92 Data Fax Modem】または
 【REX-C56EX x64 SMXXD External PnP v92 Data Fax Modem】

表示されていない場合の対処

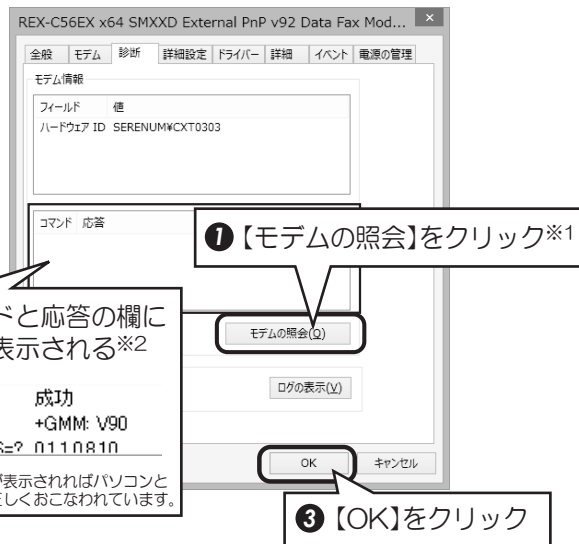
表示されていない場合は、ドライバーが正常にインストールされていません。製品添付CD-ROM内収録「トラブルシューティング (PDF形式)」の「Q1. ドライバーのアンインストール方法は？」を参照の上ドライバーを削除し、パソコンおよび本製品の電源を切り、本製品をパソコンから取り外してください。再度、「1. ドライバーのインストールをおこなう。」の手順に戻りインストールをおこない、本製品をパソコン、USB変換ケーブルに確実に取り付けてください。

3-3.

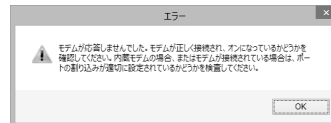


※【診断】が表示されていない場合、ドライバーが正常にインストールされていません。対処方法は「3-2. 表示されていない場合の対処」をご参照ください。

3-4.



※1 【モデムの照会】をクリックすると、エラー画面「モデムが応答しませんでした。」と表示される場合があります。もう一度【モデムの照会】をクリックしてください。



※2 コマンドと応答の欄に文字が表示されない場合、以下の設定をおこなっても同様にご確認ください。

- 他にソフトウェアが起動している(特にモデム(COMポート)を使用する場合、そのソフトウェアを終了します。
- コントロールパネルの「電話とモデム(または、電話とモデムのオプション)」の「モデム」タブにてREX-C56EX以外のモデムが登録されている場合、その他のモデムを削除します。
- 製品添付CD-ROM内収録「トラブルシューティング (PDF形式)」の「Q1. ドライバーのアンインストール方法は？」を参照の上ドライバーを削除し、再インストールをおこなってください。
- USBポートを変更してください。

4. モデムの設定をおこなう。

4-1. 【コントロールパネル】にて【電話とモデム(または、電話とモデムのオプション)】を開いてください。

Windows 8/7/
Windows Server
2008 R2の場合

Windows Vista/
Windows Server
2008の場合

Windows XP/
Windows Server
2003 R2/2003
の場合

Windows 2000
の場合

電話とモデム

電話とモデムの
オプション

電話とモデムの
オプション

電話とモデムの
オプション

【電話とモデム】アイコンが確認できない場合の対処

コントロールパネルの表示方法を切り替えてからご確認ください。

◀ Windows 8/7/Windows Server 2008 R2の場合
“大きいアイコン”または“小さいアイコン”に切り替え。

▶ Windows Vista/XP/Windows Server 2008/2003 R2/2003の場合
“クラシック表示”をクリック。

4-2. 最初に設定する場合にのみ表示。 ※2回目以降は4-3.の画面が表示されます。

所在地情報

電話またはモデムによる接続を行う際に、現在の所在地情報を設定する必要があります。

国名/地域名(N): 日本

市外局番/エリアコード(L): 06

※国名/地域名/市外局番(指定する必要のある場合)(E):

外線発信番号(D):

ダイヤル方法: トーン(T) / パルス(P)

[OK] をクリック

“06”は例です。
市外局番/エリアコード
は、お客様がご使用になる
場所の番号を入力して
ください。

4-3.

電話とモデム

ダイヤル情報 モデム 詳細設定

下の一覧には指定した所在地が表示されています。ダイヤル元の所在地を選択してください。

所在地(L):

所在地 市外局番

所在地情報 06

[編集] をクリック

4-4.

所在地の編集

通常は入力不要
※会社で外線発信番号が必要な場合、下記「●ダイヤル情報」を参照し設定をおこなってください。

市外局番の規則

所在地(N):

ダイヤル元の所在地を選択してください

国/地域(E): 日本 市外局番(L): 06

ダイヤル情報
この所在地からダイヤルするときに適用する規則:

市内通話の場合の外線発信番号(L):

市外通話の場合の外線発信番号(D):

市外通話に使用する電話会社の識別番号(E):

国際通話に使用する電話会社の識別番号(I):

キャッチホン機能を解除するための番号(W):

ダイヤル方法: ● トーン(T) ○ パルス(P)

③ [OK] をクリック

入力または選択する値について

- ダイヤル情報(1)の設定について
交換機などを使用しない一般のアナログ回線では空欄です。
会社の電話では、PBX(構内交換機)を使用しているため、外線発信に0や9が必要な場合があります。この場合は、必ず外線発信番号に数字と“(コンマ)”を入れてください。
- ダイヤル方法(2)の設定について
お客様がご契約の電話回線を選択
 - ・トーン=プッシュホン回線
 - ・パルス=ダイヤル回線

よくあるトラブル

パルスを選択しているのにダイヤルアップ接続でトーン音がして接続できない場合は、「トラブルシューティング(PDF形式)」に記載の「Q3.パルス接続ですが、発信できません。」をご参照ください。

5. 以上で、セットアップは完了。

モジュージャックにモジュラーケーブルが接続されていることを確認後、お客様の接続環境に応じて設定をおこなってください。

例)インターネットの設定→プロバイダーから提供された説明書を参照
FAXソフトの設定→FAXソフトの説明書を参照

製品添付CD-ROM内のマニュアル(PDF)について



メニュー画面で、以下のマニュアル(PDF)を開くことができます。

- ・必ずお読みください
- ・セットアップガイド(本紙と同じ内容です。)
- ・セットアップガイド_RS-232Cケーブル接続編
- ・トラブルシューティング
- ・ダイヤルアップ接続
- ・FAX送信

※PDFファイルをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。Adobe Readerのインストールは、メニュー画面の【Adobe Reader】をクリックします。Adobe Readerをインストールすることにより、PDFファイルの閲覧・印刷などが可能になります。
Windows 8では標準でPDF Readerを搭載しているので選択できません。

使用上の注意

- ※ Class2のみ対応のFAXソフトは使用できません。
- ※ パソコンでFAXを使用するには、FAXソフト(Class1対応)が必要です。Windows VistaのHome Basic/Home Premium EditionにはFAXソフトは標準添付されていません。
- ※ 本製品はNTT加入回線用に設計されています。ボタン電話・ビジネスフォン・ホームテレフォン・家庭用キーテレフォン・PBX(構内交換機)・ADSL・光電話等では、NTTの電話回線と電氣的条件が異なり接続できないことがあります。接続する場合は装置メーカーや保守会社にお問い合わせください。
- ※ キャッチホンサービスを契約している電話回線での使用は避けてください。
- ※ ISDN回線には直接接続できません。必ず、ターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。
- ※ ナンバーディスプレイの動作は保証していません。
- ※ 本製品の同時接続は、最大4台までとなります。
- ※ +48V給電のないターミナルアダプターでは利用できません。ターミナルアダプターの仕様については各メーカーにお問い合わせください。
- ※ 回線分配器などに接続した場合、正常に動作しないことがあります。
- ※ 環境(回線品質・回線状況・接続先の通信規格)によってはDCE速度が56Kbpsで接続できない可能性があります。
- ※ 環境によってはFAXの自動着信ができない場合があります。
- ※ ITU-TV.92で通信するにはプロバイダー側がV.92に対応している必要があります。
- ※ Wake Up on Ringには対応していません。
- ※ 製品改良のため、将来予告なく外觀または仕様の一部を変更する場合があります。
- ※ 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートはおこなっておりません。
- ※ 天災あるいは、本製品の故障・誤作動・停電によって生じた通信障害に対しては、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ※ 本製品はパソコン等のOA機器に使用することを目的として製造されています。医療機器や電算機システム等のような極めて高い安全性・信頼性が要求される用途には使用しないでください。
- ※ 雷などによるサージ電圧(瞬間的・断続的な過電圧)から本製品を保護する回路を内蔵していますが、より効果の高い保護対策を希望される場合は、雷サージ保護装置を併用することをお勧めします。なお、雷などの天災による故障の場合は、保証対象外となります。また、本製品を使用しない場合は、本製品からモジュラーケーブルを外しておくことをお勧めします。

その他、安全にご使用いただくための注意事項、お問い合わせ、修理などについて“必ずお読みください”(PDF)に記載しています。必ずご参照ください。